

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	倉敷市立大高小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	6	6	6	6	5	2	37	43
児童数	221	226	241	205	235	182	9	1319	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」の向上を目指して

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 1, 2, 3, 4年生算数
（系統性がはっきりしていて、つまずきに対する支援がしやすく、問題解決の過程で「分かる喜び」や「できる喜び」を味わうことができるのではないかと考えるため）
- ・ 5, 6年生理科, 社会, 音楽, 図工, 家庭, 体育
（教科担任制の効果的な活用のために該当すると考えるため）

(2) 年次ごとの計画

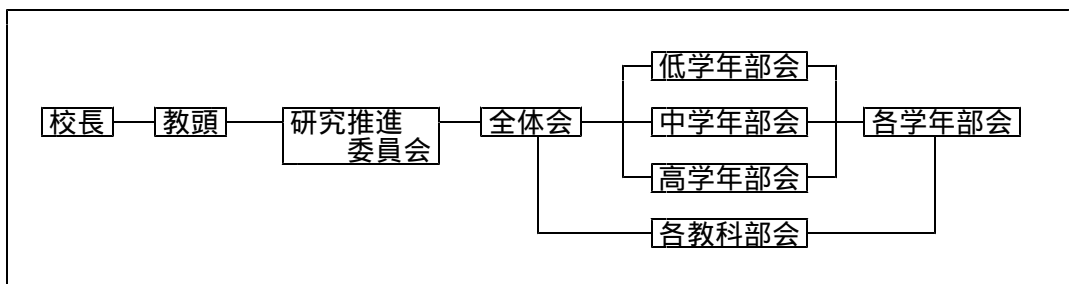
平成14年度	<p>テーマ 個に応じたきめ細かな指導方法, 指導体制の充実 研究の見通し(仮説) 少人数指導や教科担任制といった個に応じたきめ細かな指導方法や指導体制の充実を進めることによって学力を向上させることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 基礎・基本の定着のための取り組み 個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫 自ら学び, 自ら考える力を育てるための取り組み 学ぼうとする力, 学ぶ力を身につける指導の工夫</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 個に応じたきめ細かな指導方法, 指導体制の工夫改善 研究の見通し 個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫改善を図ることで, 確かな学力を向上させることができるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 子どもの実態に応じて, 補充的な学習, 発展的な学習, 習熟度別学習を行い, 指導方法を工夫する。 子どもの実態把握に努め, 指導や支援に生かす。 各教科の教材研究を深め, きめ細かな指導のための教材開発に努める。 各教科の年間指導計画や評価規準の見直しを行う。 学びの機会の充実を図る。</p>
--------	--

平成16年	<p>テーマ 個に応じたきめ細かな指導方法, 指導体制の工夫改善 研究の見通し 個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫改善を図ることで,</p>
-------	---

度	<p>確かな学力を向上させることができるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 子どもの実態に応じて、補充的な学習，発展的な学習，習熟度別学習を行い，指導方法を工夫する。 子どもの実態把握に努め，指導や支援に生かす。 各教科の教材研究を深め，きめ細かな指導のための教材開発に努める。 各教科の年間指導計画や評価規準の見直しを行う。 学びの機会の充実を図る。</p>
---	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 低学年部

算数を中心に，楽しく分かりやすい授業をめざした教材教具の工夫，理解を助け考える力を育てるための操作活動の工夫，今後の学習を支えていくための基盤づくりの3点に重点を置いて研究を進めてきた。その結果，次のような成果が見られた。

- ・数概念が養われたり，演算決定の力が付いてきた。
- ・算数的な活動をしっかりさせ，補充しながら授業を進めていくようにしてきたことで，問題解決学習の素地ができてきた。
- ・友達の考えを聞き，よりよい考えに目を向けることができるようになったり，友達同士で説明し合ったりと基本的な学習規律を身に付け，集団で意欲的に学び合おうとする姿が見られるようになった。

(2) 中学年部

算数を中心に基礎的・基本的内容を確実に身に付けるために指導方法を工夫してきた。また，展開の工夫をしたり算数的活動を取り入れたりして授業改善に取り組んできた。

評価については，計画を作成して打ち合わせを行うことで「指導する 評価する 反応に応じて支援する 確認する」のようにして必ずねらいが達成できるようにすることをめざした。また，問題解決学習の学びのステップを児童にも分かりやすい言葉で提示して実践してきたことで，授業の中で学び方を育てることができてきている。

昨年度から実施している少人数指導については，学級を機械的に2グループに分けた場合と学級を主に習熟度で2グループに分けた場合の実践をしてきた。初めて少人数で学習する3学年の初期や新しい内容又は必要な既習事項の習熟に大きな差がない場合には前者のようにしてきた。学習集団が小規模になるため気軽に発言できたり活動の場が増えたりするほか，多様な考えも出やすくなった。必要な既習事項の習熟に大きな差が見られる単元では単元の冒頭から後者のようにしてきた。

それぞれのグループで必要なところに時間をかけることができ，児童の実態に応じた支援をすることができた。補充しながら確実にするドラえもんコースでは，問題の把握の仕方や演算決定の仕方・使えそうな既習事項の洗い出しなどを，スモールステップでみんなで確認しながら進め，しっかり見通しをもたせて取り組んできたことで，自分でできるようになり，解決できた喜びを味わうことができた。確実にして発展をめざすコナンコースでは，自力解決を基本とし，自分の考えを振り返って説明したり，話し合ったりすることで，理解を深めたり修正したりして，確実にできるようになってきた。できるようになった場合は発展的な問題に挑戦していくことで，筋道を立てて考える力をさらに伸ばせるようにしてきた。

(3) 高学年部

・ 学び方の育成について・・・基礎・基本を確実に身に付けるための学び方の育成を重視して取り組んだ。学び方を育てることにより、よりよく学習内容を獲得することができるようになり、この経験が次の学習内容を学ぼうとする力になると考えた。そのために、一人一人の実態に応じて、学び方を育てていくことができるような単元の計画をしたり、児童の実態を把握し、学び方を育てていくことができるような評価の充実を図ってきた。また、問題解決学習の道筋を様々な学習の中に位置付け、学び方を身に付けることができるようにしてきた。

問題解決学習の流れを積み重ねていくことで、結果についての考察が深まったり、次への課題を見出したりすることができるようになってきた。話し合いの場面では、いろいろな視点で調べることができるようになっていたり、友達の考えと自分の考えを比べながらとらえたりするなど、多面的な学び方が発言の中に見られるようになった。

・ 補充学習について・・・児童の実態に合わせた補充的な学習により、学習内容を確実に身に付けることができるようになった。目標を実現することができた児童は、発展的な学習により、興味・関心が高まり、学習したことを広げたり、身近なものを見直したりする見方や考え方をもちつことができるようになった。

・ 教科担任制について・・・できるだけ教師の専門性や得意教科を生かすようにすることで、児童にとって、「より分かる授業」「より楽しい授業」にしていくことができた。1教師の担当教科が少なくなったので、より深い教材研究や準備をすることが可能になった。

時間割上、学習時間が限られたことで、1単位時間を大切にし、指導方法や指導内容を工夫して授業を進めようとするため、学習の質が上がり、より理解を深めることにつながった。

多くの教師の目で学年全体の児童を見るので、担任だけでは見えなかった個々の児童のよさを発見し、児童理解の上で効果を上げた。不登校気味の児童や家庭的に問題を抱えた児童など、生徒指導上の問題についても、より深い共通理解を図ることができ、それぞれに対して多面的な支援を可能にすることができた。

2. 今後の課題

今年度の成果をもとに、学力の向上をめざしていくために、以下の3点を中心に研究を進めていきたいと考える。

- ・ きめ細かな指導を効果的に行うための指導方法・指導体制の工夫改善のために授業研究を中心にして個に応じた有効な指導方法を探り、授業改善を進める
学ぶ意欲を喚起し、学び方を身につけさせる指導方法を工夫する
各教科の評価を指導に生かし、指導と評価の一体化を図る
少人数指導の効果的な活用
教科担任制の効果的な活用
- ・ 補充的・発展的な指導の教材開発や指導方法の工夫のために
児童個々の課題に応じた補充的な学習や発展的な学習の場の設定、単元構成
効果的な指導のための教材開発や教具の工夫
- ・ 学びの機会の充実のために
授業時間以外の指導・支援
朝の読書
始業前学習
家庭学習や生活面での家庭との連携
時間割の工夫

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 学ぼうとする力や学び方の実態や変容を把握するために学習についてのアンケート調査を年3回（5月、10月、1月）実施
- ・ 習熟度別指導のグループ編成のための調査（単元の初めと終わり）
- ・ 観点別の目標検定テストの実施（1～6学年の算数、1～4学年の国語、4～6学年の理科、5～6学年の社会）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成14年度の研究内容についてHPにて公開中
- ・平成15年度の研究内容についてHPにて公開予定
(<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/otaka-e/>)
- ・平成15年6月23日に授業公開と講演会を開催(倉敷市内の小学校を対象)
- ・平成15年11月28日に授業公開を開催(倉敷教育事務所管内の小学校を対象)
- ・平成16年11月に授業公開を開催予定(倉敷教育事務所管内の小学校を対象)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無